



ぼらんていあ倶楽部

発行：西東京ボランティア・市民活動センター 〒188-0011 西東京市田無町 5-5-12 総合福祉センター
TEL 0424(66)3070 FAX 0424(66)3555
E-mail: nishivac@bz01.plala.or.jp

クリーン&セイフティ西東京 タウン・ガード・キャンペーン

今日からはじめようわたしたちができる防犯習慣～企業ボランティアとしての取り組みの中から～

(株)スポーツクラブ プライゾ田無 支配人 前田 隆雄

最近、新聞やテレビで凶悪犯罪や幼児・児童を巻き込んだ子どもに対する犯罪のニュースを非常に多く目にします。そして、それが都心でも郊外でもいつでも起こりうる可能性がある世の中になってしまいました。

では、なぜそのような犯罪が増えてきているのでしょうか。いろいろな要因が挙げられますが、犯罪が増える重要な原因として私の学習の中で考えられることは、1. 小さな犯罪を見て見ぬふりをする 2. 犯罪に関して市民が無関心である 3. 町の中の住民のネットワークの欠如 4. 防犯意識の低さ 5. 町にごみが多かったり落書きがある、が挙げられると思います。このような、5つの犯罪増加要素を減らすため、私は企業ボランティアとして何かの方法で地元住民へ日ごろの感謝を込めて還元できる有益な活動を発展させたい、又、下記に述べますように現在多摩地区で「ひたたくり」において西東京市が26市中ワースト3に入る程犯罪多発地域である今、何とか「住みたい町、安全な町 西東京市」にさせたいと思い、今年7月より現在、期間を区切って「清掃パトロール・タウンガード隊 西東京市」を市の後援名義の承認を得て弊社スタッフと共に実施しています。

この「タウン・ガード・キャンペーン」の具体的な活動は、年間では 3月から4月 7月から9月 11月末から12月末 の期間に小学校や幼稚園の周りから住宅街を、子どもの下校時刻の16時から18時の間の約60分をあいさつをしながら町を清掃して回るものです。

さて、どうして私が始めるようになったかといいますと、事実、平成15年1月・3月・5月に弊社1F 駐車場(西東京市西原町)にて車上荒らしが発生し、弊社のスポーツクラブの会員様が被害者になってしまった事が大きな発端でした。そして、さらに警視庁が平成15年の5月下旬にインターネット上で「ここで犯罪・地域別犯罪件数マップ」のホームページを開設したことで地域別の犯罪件数や犯罪発生地域が手に取るようにわかるようになり、自分の住んでいる西東京市田無町が真っ赤になって犯罪件数が多かったことがショックでした。そのため何か行動に移したくなり、商店会の会長や警察へ相談をしながら即実行に移したのでした。週に3日から4日でそのうちの1日約1時間ですが、何もやらないより早く実行に移すことが重要と思いました。現在は、行政とも連携をとって少しでも多くの企業や市民個人の方に参加して頂きたくがんばっています。皆さんも参加していただける方は是非、スポーツクラブプライゾ(0424-69-1170)前田までお問い合わせいただきたいと思います。

最後に、今日からやっていただきたい防犯習慣として、又自分そして子どもが危険な目にあわないためをお願いしたいことは、家から出たらまず道路にいつもと違ったことが起きていないかを見る習慣を付けてください。

例えば、不審な車が止まっている、変なゴミ箱・ダンボール箱が置かれているなど。その場合、帰り道はその不審な車がいった道は通らない。バッグは壁側に持つ・自転車の荷台にはネットをかける。子ども・若い女性もホイッスルなどを常に首に吊り下げる。挨拶はしても、名前を聞かれたり、住んでいる場所を聞かれたりしたらすぐ逃げる。常にすれ違う人の顔を見ておく。知り合いは必ず挨拶する、などです。

今こそ、「挨拶のある清潔・安全な西東京市は住んでみたい町・多摩地区 No.1」にしていきたいと思えます。ご協力をお願いいたします。



1月

ファーストステップ講座

2月

「クリーン&セイフティ西東京タウンガードキャンペーン」を展開されている前田隆雄氏をゲストにお迎えして、町を歩いて気がついた様々な出来事をお話しいたします。ボランティアも募集中です。
日時：1月17日(土)13:30~15:00
場所：西東京ボランティア・市民活動センター

2月は頸椎・脊髄・腰椎の病気や怪我による身体障害とその特性、リハビリテーションなどについて、ボランティア活動の視点から一緒に考えます。関心をお持ちの方、ぜひご参加ください。
日時：2月21日(土)13:30~15:00
場所：西東京ボランティア・市民活動センター

西東京市NPO法人連絡会

西東京市NPO法人連絡会は、数回の準備会を経て2001年8月に設立されました。西東京市内のNPO法人または、NPO法人を目指す団体が連携し情報交換しながら、市民や行政に対しNPOへの理解を広め、市民が暮らしやすいまちづくりを進めることを目的としています。

定例会を毎月1回開催し、加盟団体の他、西東京市生活文化課と西東京ボランティア・市民活動センターからオブザーバー参加をいただいています。会議では、各団体の情報交換、NPOのネットワークの意義について、イベントの打ち合わせ、市のNPO支援策等について話し合っています。また、毎年、NPO講演会(市職員の研修を兼ねている)と、NPOフォーラムを市と共催で行っています。今後は、NPOの拠点作りについても話し合っていく予定です。今までの成果としては、イベントを通して、行政や市民にNPOをアピールできたこと、いろいろな団体とつながりができたことがあげられます。今後も、NPOがネットワークしてまちづくりに貢献していくために活動を広げていきたいと思っています。参加団体を募っていますので、お問い合わせください。

NPO法人たすけあいワーカーズハミング 貫井 TEL 0424-25-0383

NPO実務研修【広報・宣伝のテクニック】

日時：1月14日(水)午後7時~9時
講師：吉田理映子氏 さいたまNPOセンター

【リスク・マネジメントを考える】

日時：1月21日(水)午後7時~9時
講師：中原美香氏 リスク・マネジメント・オフィス
参加費：各講座2,000円
会場：田無総合福祉センター(田無町5-5-12)
主催：西東京ボランティア・市民活動センター
0424-66-3070

NPO講演会

日時：2月12日(木)午後2時~4時(開場1時30分)
場所：保谷こもれびホール小ホール
対象：市職員、市民、NPO関係者
講師：谷本有美子氏(東京財団リサーチフェロー)元北区職員
テーマ：北区の事例から(予定)
主催：西東京市NPO法人連絡会
西東京市



西東京市日本語ボランティア連絡会

山辺真理子(西東京にほんご教室)

「西東京市日本語ボランティア連絡会」は、在住外国人の日本語学習支援や国際交流活動を行っている5団体が参加して2002年2月12日に緩やかなネットワークとして発足しました。呼びかけ人としては、行政との関わりや情報提供などに協力関係を築きたいという思いがありました。第1回会議では、各団体の活動状況を紹介しあい、活動場所や日時を記載した共通チラシを作成することが決まりました。外国人住民は市役所の外国人登録窓口から西東京市での生活をスタートします。その窓口でチラシを置いてもらうには、市内の団体が団結して市への協力を願う必要がありました。2002年5月から外国人登録窓口、ロビースタンド、ボランティア・市民活動センターに置いていただいているチラシは、外国人だけでなく日本人ボランティアへの情報提供としても役立っています。

その後も、約3ヶ月ごとに話し合いを続け、2003年9月には5団体が協力して各団体の活動状況を紹介するパネルを市役所ロビーに展示しました。その実績が認められ、2004年3月に行われる生活文化課との共催・国際交流行事に向けて、現在も話し合いが続いています。

同じ住民として外国人との共生を目指し、各団体のスタンスを大事にしながら、今後も協力して活動していきたいと思っています。

特定非営利活動法人 **アジア植林友好協会**

NPO Asian Green Forest Network

私どもNPOアジア植林友好協会は、アジア地域での植林活動を通じ、地域環境の保護と再生を目的に設立されました。現在絶滅危惧種に指定され、過去20年間で80%も減少したオランウータンの保護団体BOSFと共同で、オランウータンの好きな果樹または熱帯自生種を、BOSEの持つ1,600haの土地に植林を行い、オランウータンが再び暮らせる森づくりを行っています。また、現状のままでは自然の森に戻らない草原化した焼畑跡地に、現地住民への生活支援のため持続可能な生産木として「ゴールデンバイオチーク」の苗木を植林し、生命の森づくりを行っています。さらに、植林地区内の植林木の間に、住民の生活支援として胡椒・パイナップル等を植え、アグロフォレストリーを実践しています。現在主にインドネシアで活動していますが、西東京でも行いたいと考えています。美しい地球を子どもたちに残していくためには、皆さんの支援が必要です。ぜひご協力ください。

〒202-0022 西東京市柳沢6-1-1 TEL0424-51-6120 FAX0424-51-6120

URL: <http://www.agfn.org>

E-Mail: info@agfn.org

NPO紹介

西東京市周辺（在住、在勤）の40歳までの青年会員組織です。明るい豊かな社会づくりを目指し、小学生を対象にしたわんぱく相撲大会、教育に関する講演などを行っています。月1回の例会は異業種の方と触れ合う機会であり、自分を磨く自己開発の場、ビジネス的な勉強の場ともなっています。メンバーは理事長を筆頭に、総務人財創造委員会、煌くまち創造委員会、輝く人創造委員会、会員拡大特別委員会、ブロック支援特別委員会の5つの委員会にそれぞれ所属し活動しています。西東京市を誇れる町にしたいという思いを持つ仲間を募集しています。関心をお持ちの方はぜひ連絡ください。

【事務局】〒202-0015 西東京市保谷町3-2-7 TEL&FAX 0424-65-6711
理事長 鶴田清司（携帯）070-5548-6775

国際ソロプチミストをご存知ですか？

名称の語源は「ソロ（姉妹）」「オプティマ（最善）」というラテン語から作られた「女性にとって最良のもの」という意味です。

管理職、専門職に就いている方、あるいは最近引退又は離職された方、これから従事しようとしている女性で構成します。124ヶ国に3000以上のクラブがあり、約92000人の会員が奉仕活動をしています。6分野のプログラム（経済的社会的開発、教育、環境、保健、人権・女性の地位、国際親善と理解）への参加および地域の問題に取り組む公的機関や団体と協力し、個人・団体への支援、講師を招いての勉強会など地道な活動を継続しています。国内では内閣府男女平等参画推進連携会議（えがりて）のメンバーです。

2001年4月 西東京市「谷戸せせらぎ公園」に時計塔を寄贈

2002年・2003年 西東京市社会福祉協議会に車椅子を寄贈

2004年4月 認証15周年記念講演会を開催予定

【連絡先】国際ソロプチミスト東京 - 西（会長）高梨昭子

【事務局】〒188-0014 西東京市芝久保町5-3-16 TEL/FAX 0424-62-6692



活動レポート

「ありがとう」に同感

宮腰 春子

思えば都内の点訳ボランティアから始まり、地域のボランティア活動に携わるようになって、かれこれ7年以上過ぎたでしょうか。今年も数々のお手伝いをさせていただきました。そのうちの2, 3を挙げてみますと、9月に私にとっての初体験、1泊宿泊の外出付添い人として参加。好奇心は人一倍、自信は全くなし。その上二人で新幹線に乗り、見知らぬ土地（山形）へ行く不安。しかし、案ずるより生むが易し。思っていたより興味深い内容でした。また、11月には障害者の方たちと多摩湖までのウォーキング。色づき始めた木々を眺めながら、ゆっくりと10kmの距離を歩きました。これは運動不足の私には一挙両得であり、最高の気分の1日でした。そして今は、いつも笑顔の明るい小学4年生の男の子と一緒に、週1回学校で体育の時間を過ごしています。縄跳び、ボール投げ等々、子どもに返り楽しんでます。

ボランティア活動をしていて何よりうれしいのは、帰り際にいわれる挨拶の言葉、「今日はどうもありがとうございました」こちらも同感の意であります。

いずれにしても、いろいろの人たちと出会い、地域社会の活動に少しでも参加できることに感謝しています。これからも体力、年齢、気力を考え合わせた上で、自分にあった活動を自発的に続けて行きたいと思っています。自分の行く末を見つめるためにも...



傾聴ボランティア講座を受講して

大内 廣子

郵便局での待ち時間、「傾聴ボランティア講座」と書かれた一枚の紙が目にとまりました。

ヘルパーを初めて3年半、利用者の方と心の通ったコミュニケーションを築きたいと願っていた私は、「傾聴」の意味を知らぬまま、その一助になればと受講することにしました。講義と模擬演習を通して、私は自分のしていた会話が話すことだけに一生懸命で、「聴く」という作業については何も考えず、意識もしていなかったことに気がされました。

講座で教えていただいた、心を開いて温かく受け入れる「受容と共感」という言葉を胸に、特別養護老人ホームへ体験学習に伺いました。私が傾聴させていただいた一人の方は、生い立ちや現役時代の話をして下さり、帰り際にいつも「今度いつ来るの」と尋ねられます。もう一人の方は痴呆症のため会話が成立しにくいのですが、優しく受け入れてくださいました。大勢の方と一緒に話したときは、皆様話したいことが溢れんばかりに盛り上がり、交通整理が必要な程でした。話をして下さった方に教えていただくことが多かった私ですが、話を聴いてほしいと願っている方が多くおられる現実を実感しました。

これから私は「傾聴」の心を謙虚に探求しながら、ヘルパー活動やボランティア活動、しいては日常生活においても生かしていきたいと思っています。

2004年度 FC東京・市民スポーツボランティア会員募集説明会

日 時：2月21日(土) 14:00～16:30(受付開始13:30～)
場 所：FC東京小平グランド内会議室(小平市大沼町2-584 東京ガス武蔵野苑)
内 容：主に味の素スタジアムで開催されるFC東京のホームゲーム開催時の運営サポートと試合終了後の場内ゴミ回収作業を市民ボランティアで行っています。現在登録者数約600名、1試合あたり約80名の参加者がいますが、2004年の新シーズンは更に会員数を増やすことを目的に説明会を開催します。
対象者：中学校卒業以上の方
申込み：当日、会場へ
問合せ：FC東京・市民スポーツボランティア事務局 TEL0424-88-6280

第2回 たなし工房絵画展

日 時：2004年2月5日(木)～9日(月)

場 所：アスタ センターコート

—昨年2月に第1回絵画展を行いました。

たくさんの方に観ていただき、嬉しいお誉めの言葉をいっぱいいただきました。それをはげみに、また2年間創作活動を続けてきました。200点近い作品の中から今回も80点くらい出品します。ぜひ観に来てください。



たなし工房

西東京市向台町1-17-2

TEL/FAX 0424-68-3061

tanabou@guitar.ocn.ne.jp

助成金情報

助成金情報は東京ボランティア・市民活動センターのHP
<http://www.tvac.or.jp/>で常時検索できます。

ゆめ応援ファンド

応募資格 (1)ボランティア・市民活動団体(2)ボランティア・市民活動団体を推進している民間非営利団体
助成内容 2004年4月1日～2005年3月31日に実施するものを対象とします。ただし、一部先駆的・モデル的活動は3年間までの継続的な事業について助成の申請ができます。
助成金額 1件につき原則として100万円以内。上記継続的な事業については1年につき、100万円を限度とします。
応募期間 2004年1月31日(土)18時 必着・締切厳守
応募・問合せ 東京ボランティア・市民活動センター【基金助成係】〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1
TEL03-3235-1171 FAX03-3235-0050 月曜・祝祭日休
申請書は西東京ボランティア・市民活動センターにあります

みずほ教育福祉財団「老後を豊かにするボランティア活動資金」

助成対象 地域社会で高齢者のための活動を進めている幅広いボランティアグループ(住民参加型在宅福祉サービス団体等を含む)で、次の要件を満たすもの。 会員構成は10～50人程度 活動実績2年以上
助成金額 1グループにつき10万円を限度とし、助成グループの数は130グループ程度とします。
応募方法 ボランティア・市民活動センターにある所定の申請書に社会福祉協議会の推薦を得て平成16年5月末必着で右記へ 〒100-0011 千代田区内幸町1-1-5 みずほ銀行本店内 (財)みずほ教育福祉財団
問 合 せ (財)みずほ教育福祉財団 福祉事業部 小野 TEL03-3596-4532
FAX03-3596-4531

三菱財団 社会福祉事業・研究助成

助成対象 公の援助を受け難い、開拓的ないし実験的な社会福祉を目的とする民間の事業 科学的調査研究
助成金額 年度総額9千万円を予定。1件あたり助成額は定めないが、30件程度を採択予定。
応募締切 平成16年1月13日(火)
申込方法 郵送 ホームページからダウンロード <http://www.mitsubishi-zaidan.or.jp/>
請求・申込み 〒100-0005 千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル15階 財団法人三菱財団
TEL03-3214-5754
問 合 せ 東京都社会福祉協議会福祉部地域・高齢担当(道地) TEL03-3268-7172

*ぼらんていあ倶楽部は市内の次の施設、機関でも入手できます。ご利用ください。

西東京ボランティア・市民活動センター 西東京市社会福祉協議会 市役所 郵便局 公民館 図書館 地区会館
老人福祉センター 福祉会館 消費者センター こもればいホール ふれあいセンター スポーツセンター
ファミリーマート(中町店) スポーツクラブプライズ